2020 年 2 月 14 日
第一生命ホールディングス株式会社

「2020 年 3 月期第 2 四半期　決算報告」において、下記の通り表示に一部誤りがございました。
お詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正させて頂きます。

記

● 訂正箇所
「P.30 海外生命保険事業 － 豪TAL業績
右表：純利益と基礎的収益力の差異

【訂正前】

（百万豪ドル）

	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	前年同期比
純利益(A)(2)	67	43	△35%
修正額(B)(3)	22	5	
うち負債割引率の変化	△ 2	55	
うち償却負担	9	△ 30	
うち優先株配当	4	9	
その他	10	△ 28	
基礎的収益力=(A)+(B) (Underlying profit)	90	49	△45%

<参考>

	18/9末	19/9末
為替レート（豪ドル）	81.83円	72.88円

【訂正後】

（百万豪ドル）

	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	前年同期比
純利益(A)(2)	67	43	△35%
修正額(B)(3)	22	5	
うち負債割引率の変化	△ 2	55	
うち償却負担	9	△ 30	
うち優先株配当	4	4	←
その他	10	△ 23	←
基礎的収益力=(A)+(B) (Underlying profit)	90	49	△45%

<参考>

	18/9末	19/9末
為替レート（豪ドル）	81.83円	72.88円

以上

2020年3月期第2四半期 決算報告

2019年11月14日

第一生命ホールディングス株式会社

Dai-ichi Life Holdings

- 第一生命ホールディングス　経営企画ユニット　ユニット長の西村です。
- 本日は、第一生命グループの2020年3月期第2四半期決算報告の電話会議にご参加いただきまして、ありがとうございます。
- 私から資料に沿って決算内容についてご説明し、残りの時間を質疑応答とさせていただきます。
- １ページをご覧ください。

決算の概況 – 決算のポイント

Dai-ichi Life Holdings

1.【営業業績】国内新契約全体は減少も、第三分野商品は増加し、新契約価値にも貢献

- 経営者保険の販売停止の影響で新契約年換算保険料全体は前年同期を下回ったものの、第三分野商品は増加
- 新契約価値にも第三分野は貢献、ただし、販売停止や金利低下にDFL特有の要因もあり、全体は減少
- 第一生命において９月販売開始の「就業不能保険」の販売は好調な滑り出し

2.【連結利益】修正利益は、海外・DFL増益にDLのキャピタル益増加が加わり、大幅増益

- 第一生命は、前年同期比での金融派生商品損益の改善など、市場変動に伴う増益要因が寄与
- 海外生命保険事業は、米PLCのリバティ既契約ブロック買収効果の反映や第一生命ベトナムの利益改善などにより増益
- 第一フロンティア生命は、運用期間満了を迎えた年金の危険準備金戻入などの寄与により、修正利益は増益
  中間純利益は、金利低下に伴う市場価格調整(MVA)に係る損益の影響により赤字
- 市場変動に伴う増益要因除きで期始通期予想に対して概ね想定通りの進捗であり、通期予想は据え置き

3.【トピック】グレートウェストの既契約買収がEEVに反映、TALは大型契約を3Q計上予定

- 米PLCによるグレートウェストの既契約ブロック買収が6/3付で完了し、EEVに反映
- 豪TALが大型団体保険契約を獲得し、第３四半期の新契約価値に計上予定

［会社名略称］DL：第一生命　DFL：第一フロンティア生命　PLC：プロテクティブ

- 今回の決算のポイントを以下の3点にまとめました。
- まず営業業績についてです。経営者保険の販売停止の影響や、国内外の金利低下による貯蓄性商品ニーズの減速などにより、国内3生保の新契約年換算保険料は全体として減少しましたが、第一生命の認知症保険やネオファースト生命の医療保険などの第三分野商品の販売が引き続き順調に推移し、第三分野の新契約年換算保険料は増加しました。
- 新契約価値は、販売停止や金利低下に加え、第一フロンティア生命特有の新契約価値計算上の要因が影響し、全体では減少しましたが、第三分野の販売拡大がプラス寄与しています。また、９月に販売を開始した「就業不能保険」も好調なスタートを切っており、今後の新契約への貢献が期待されます。
- 第二に、連結利益については、グループ修正利益は大幅な増益となりました。これは、海外生命保険事業における、プロテクティブのリバティ・ライフの既契約ブロック買収効果や第一生命ベトナムの利益改善、第一フロンティア生命の増益に加え、金融市場の変動に伴い、第一生命における金融派生商品損益などが前年同期比で大幅に改善したことが要因です。なお、第一フロンティア生命では、運用期間満了を迎えた年金契約における危険準備金の戻入益が寄与し、修正利益は大幅な増益となりましたが、純利益については、金利低下に伴う市場価格調整(MVA)に係る損益の悪化の影響を受け、赤字となりました。
- 通期予想については、第一生命を中心とした市場変動に伴う増益要因を除いて期始予想対比で概ね想定通りの進捗にあると考えています。下期の市場変動の影響なども踏まえ、通期予想は据え置きとしています。
- 最後に、第2四半期のトピックとして、プロテクティブが6/3付でグレートウェストの既契約ブロック買収を完了しており、第2四半期末において、約500億円がEEVに加算されています。
- また、TALが大型団体保険契約を獲得しており、為替などの前提によりますが、新契約価値で約150億円が第3四半期に計上される見込みです。
- 次のページをご覧下さい。

決算のポイント（国内営業業績）

Dai-ichi Life Holdings

■ 国内の新契約年換算保険料は、7月までの経営者保険の販売停止などにより大きく減少したが、第一生命・ネオファースト生命ともに第三分野商品販売は順調に拡大し、経営者保険以外の第三分野商品では、前年同期比+15%増加

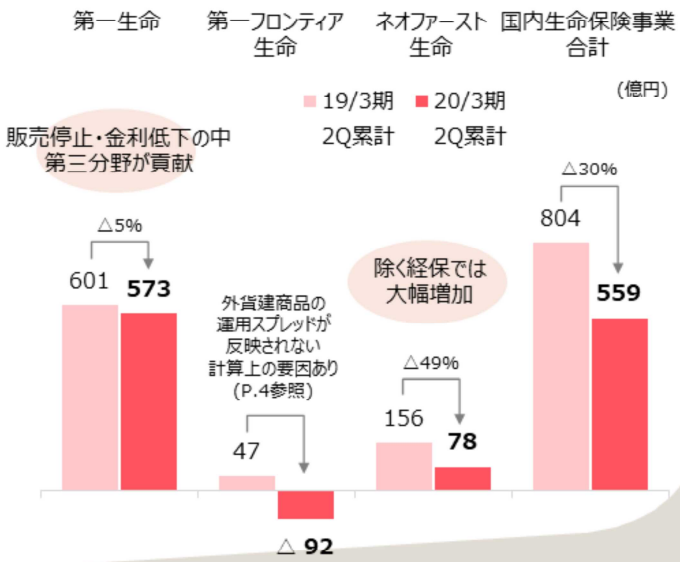
■ 新契約価値にも第三分野は貢献、ただし、販売停止や金利低下に第一フロンティア生命特有の要因もあり、全体は減少

国内生命保険事業・新契約年換算保険料

(億円)	19/3期 2Q累計	除く経保(1)	20/3期 2Q累計	除く経保(1)
国内生命保険事業	2,102	1,466	**1,128**	1,122
第一生命	460	383	**427**	423
第一フロンティア生命	1,056	1,056	**657**	657
ネオファースト生命	584	26	**43**	42
うち第三分野商品	303	265	**306**	306
第一生命	278	239	**265**	265
ネオファースト生命	25	25	**40**	40

前年同期比+15%
うち第一生命　+11%
うちネオファースト生命　+59%

国内生命保険事業・新契約価値



(1)　19年2月より販売停止としていた経営者向け保険商品を除く。8月より第一生命の営業職員等の専属チャネル、9月より代理店にて販売を再開しています。

■ こちらでは国内営業業績の詳細を示しています。

■ 左の表は、国内3生保の新契約年換算保険料の前年同期との比較になります。今年2月から7月までの経営者保険の販売停止などにより、全体では大きく減少しましたが、第一生命・ネオファースト生命では、主力である第三分野商品販売を順調に拡大し、経営者保険以外の第三分野商品では、両社ともに2桁増と順調に進捗、2社合計では+15%増加しました。

■ 右のグラフは、新契約価値の前年同期との比較になります。販売停止や金利低下の影響に加え、第一フロンティア生命特有の要因も影響し、全体では△30%の減少となりました。詳細は4ページに記載していますが、第一フロンティア生命で近年販売を拡大している外貨建商品は、外国社債などをベースとしている資産運用の超過収益が新契約価値の計算上は反映されず、リスクフリーレートによって評価されていることが含まれています。

■ しかしながら、第一生命やネオファースト生命では、第三分野商品を中心とした保障性商品の販売は着実に増加しており、新契約価値にも貢献しています。

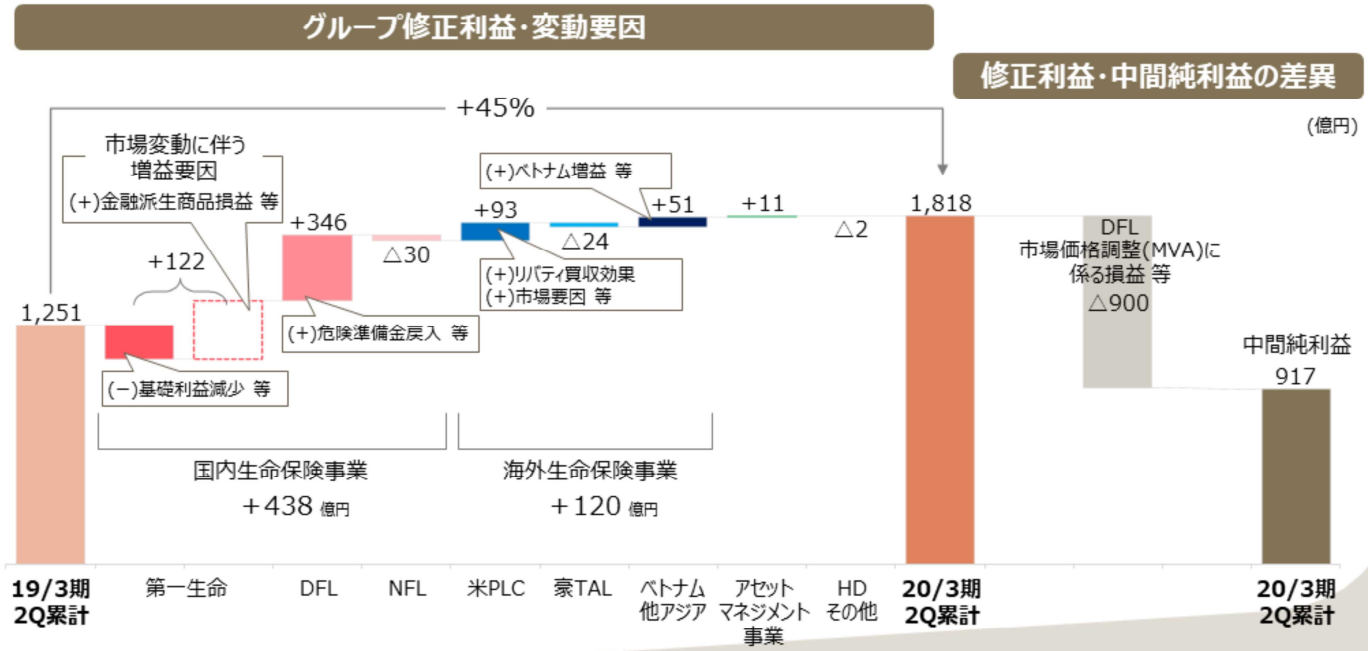
■ 次のページをご覧下さい。

決算のポイント（連結利益）

Dai-ichi Life Holdings

■ グループ修正利益は、第一生命の基礎利益が減少した一方、第一フロンティア生命が大幅増益となったほか、海外生命保険事業の利益改善が寄与し、第一生命の市場変動に伴う増益要因除きでも増加

■ 中間純利益は、第一フロンティア生命の金利低下に伴う市場価格調整(MVA)に係る損益の影響などにより、減益



[会社名略称] DFL：第一フロンティア生命　NFL：ネオファースト生命　PLC：プロテクティブ

3

■ こちらでは連結利益について、グループ修正利益・中間純利益のポイントを示しています。

■ グループ修正利益は、第一生命の基礎利益が期初想定の通り減少したものの、第一フロンティア生命が危険準備金の戻入により大幅な増益となったほか、海外生命保険事業も米プロテクティブや第一生命ベトナムを中心に増益となり、全体では前年同期比+45%増加の1,818億円となりました。第一生命の市場変動に伴う増益要因を除いたベースでも利益は拡大しています。

■ 一方、中間純利益はグループ修正利益から大きく減少していますが、これは第一フロンティア生命における金利低下に伴う市場価格調整(MVA)に係る損益が影響しているためです。

■ 次のページをご覧下さい。

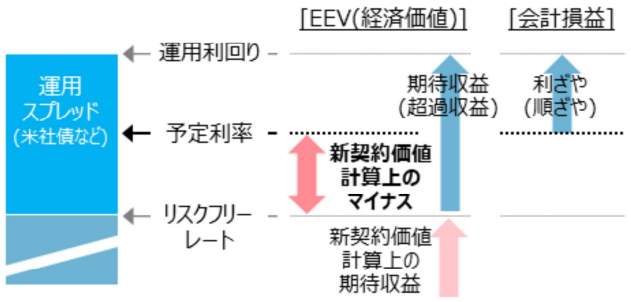
（参考）第一フロンティア生命 – 新契約価値・市場価格調整（MVA）に係る損益

Dai-ichi Life Holdings

■ 第一フロンティア生命は外貨建商品が現在の販売の主力であり、海外金利変動の影響を受ける構造
■ 新契約価値はマイナスであるが、マッチング運用による(超過)期待収益が契約後の期間経過とともにEV増加に反映
■ 市場価格調整(MVA)に係る損益は、期間を通算すれば収支への影響はニュートラルであり、修正利益には含めない

新契約価値

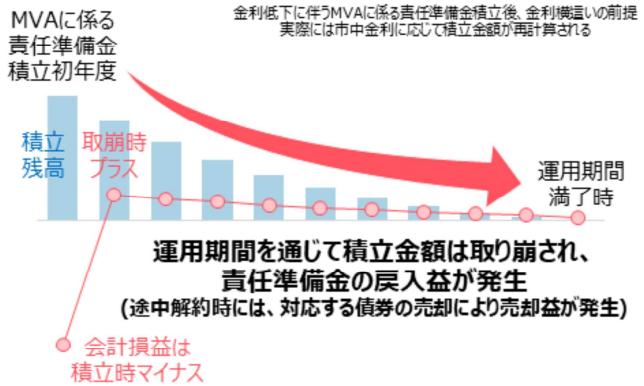
<外貨建商品の運用利回りと新契約価値の関係(イメージ)>



- 新契約収入保険料に占める外貨建商品は約9割(20/3期2Q累計)
- 現在の外貨建商品の予定利率は、米国社債などの運用利回りを前提に設定しているが、EEVの新契約価値では、リスクフリーレートを期待収益とするため、予定利率との差が計算上はマイナス寄与
- 新契約時の投資債券から生じる将来の利ざやは、新契約価値計算上の期待収益には含まれないが、マッチング運用を通し、会計損益では順ざや、EEVでは超過収益として、契約後の期間経過とともに計上される

市場価格調整(MVA)に係る損益

<MVAに係る責任準備金残高と会計損益への影響(イメージ)>



- 資産運用は、商品通貨に応じた債券を中心に運用し、金利変動の影響を考慮して責任準備金対応債券とその他有価証券区分に組入れ
- 今年度の海外金利の大幅な下落を踏まえ、財務実態を適切に表すため、第2四半期において、一部債券を責任準備金対応債券からその他有価証券へ区分変更を実施

4

■ こちらで第一フロンティア生命の決算上の特徴について２点補足します。

■ 現在、第一フロンティア生命では、外貨建商品が販売の中心にあり、今年度第2四半期までにおいては、新契約収入保険料の約9割が外貨建商品となっており、海外金利変動の影響を受けやすい構造となっています。

■ 左側では、今回の決算において第一フロンティア生命の新契約価値がマイナスに転じたテクニカルな要因を説明しています。第一フロンティア生命の外貨建商品は、現在、米国社債などを前提として予定利率が設定されていますが、新契約価値の計算上では、リスクフリーレートを期待収益として用います。そのため、予定利率との差分が今回の新契約価値のマイナス計上となっています。しかしながら、運用利回りが予定利率を上回る部分については、マッチング運用を通じ、契約の期間経過とともに超過収益としてEEVの増加に寄与することになりますので、実質的な新契約の経済価値はプラスとなります。

■ 右側では、今回大きな金額を計上した市場価格調整(MVA)に係る損益について説明しています。会計上は、金利低下に伴い、MVAに係る責任準備金の追加積立がマイナスの影響となりますが、積立額は期間経過に伴い順次取り崩されることになりますので、責任準備金の戻入益として会計上はプラスの影響となります。結果、期間全体での影響はニュートラルである評価性の損益であり、修正利益の計算には含めないこととしています。

■ 次のページをご覧下さい。

第一生命グループ業績 – 連結主要業績

Dai-ichi Life Holdings

■グループ修正利益は、第一生命の市場変動に伴う増益要因除きで概ね想定通りの進捗であり、通期予想は据え置き

（億円）　＜参考＞

	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計 （a）	前年同期比		20/3期（予） ※2019/5/15 発表予想(b)	進捗率 (a/b)
連結経常収益	**35,969**	**36,561**	**+ 592**	**+ 2%**	**69,310**	**53%**
第一生命	18,277	18,070	△ 206	△ 1%	34,850	52%
第一フロンティア生命	11,051	12,404	+ 1,352	+ 12%	16,950	73%
プロテクティブ （百万米ドル） (1)	4,265	6,378	+ 2,113	+ 50%	10,370	62%
TAL （百万豪ドル） (1)	1,855	2,792	+ 936	+ 50%	4,890	57%
連結経常利益	**2,162**	**1,937**	**△ 225**	**△ 10%**	**4,170**	**46%**
第一生命	1,791	1,976	+ 184	+ 10%	3,140	63%
第一フロンティア生命	142	△ 384	△ 527	--	410	--
プロテクティブ （百万米ドル）	191	305	+ 113	+ 59%	430	71%
TAL （百万豪ドル）	98	69	△ 28	△ 29%	230	30%
連結中間純利益 (2)	**1,163**	**917**	**△ 245**	**△ 21%**	**2,260**	**41%**
第一生命	940	1,063	+ 122	+ 13%	1,510	70%
第一フロンティア生命	64	△ 412	△ 476	--	300	--
プロテクティブ （百万米ドル）	155	246	+ 90	+ 58%	350	70%
TAL （百万豪ドル）	67	43	△ 23	△ 35%	160	27%
グループ修正利益	**1,251**	**1,818**	**+ 567**	**+ 45%**	**2,400程度**	**76%**

(1) 米プロテクティブおよび豪TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しています。
連結の際には、それぞれ1米ドル=110.54円（19/3期2Q）、107.79円（20/3期2Q）、1豪ドル=81.83円（19/3期2Q）、72.88円（20/3期2Q）で円換算しています。
(2) 連結中間純利益は、親会社株主に帰属する中間純利益を記載しています。

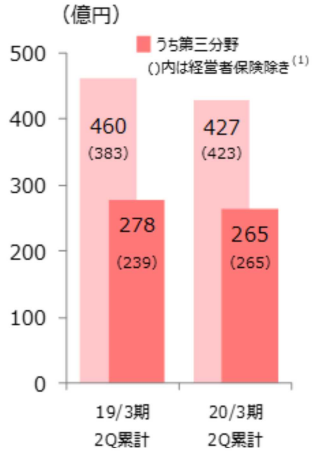
- こちらは連結業績概要と通期予想になります。
- 通期予想に対し、グループ修正利益が76%の高い進捗率となっていますが、第一生命を中心とした市場変動に伴う増益要因を除いては現時点で概ね想定通りの進捗と考えており、下期の市場変動の影響なども踏まえ、通期予想は据え置きとしています。
- 次のページをご覧下さい。

国内生命保険事業 – 第一生命

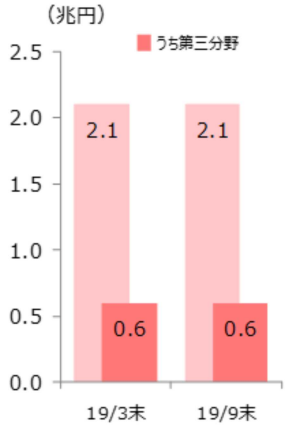
Dai-ichi Life Holdings

- 新契約年換算保険料は減少したが、保障性商品の販売が堅調に推移し、経営者保険以外では第三分野を中心に増加
- 基礎利益は、円高・低金利環境継続などの影響により、順ざやが減少したことなどから減益となったが、期始見通しに沿った動きであり、中間純利益は、金融派生商品損益など、市場変動に伴うキャピタル損益の改善が寄与

新契約年換算保険料



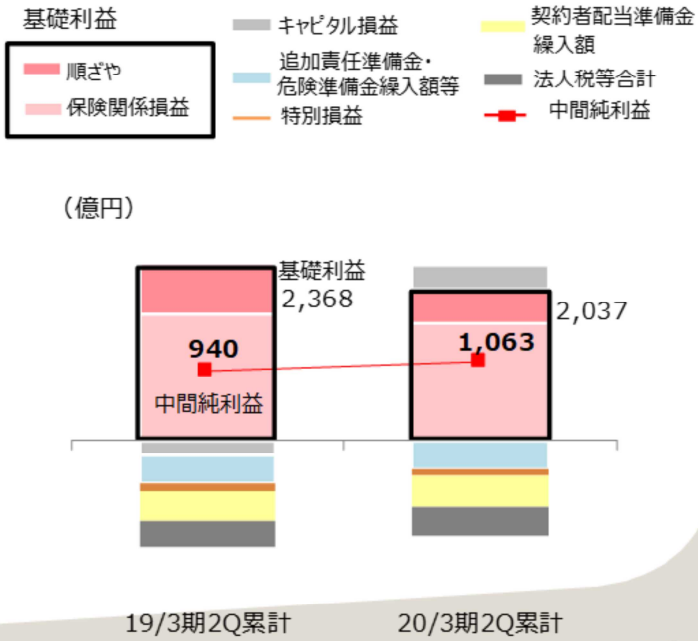
保有契約年換算保険料



(億円)

	19/3期2Q累計	20/3期2Q累計	増減
中間純利益	940	1,063	+122
修正利益	940	1,063	+122

基礎利益・中間純利益の構成要素



(1) 19年2月より販売停止としていた経営者向け保険商品を除く。8月より第一生命の営業職員等の専属チャネル、9月より代理店にて販売を再開しています。

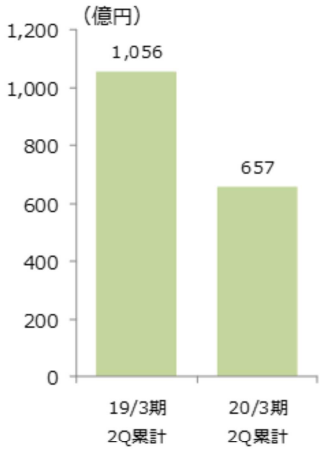
- こちらのページからは、グループ各社の業績についてご説明します。まずは第一生命です。
- 冒頭にご説明したとおり、経営者保険の販売停止などにより新契約年換算保険料は前年同期比で減少しましたが、販売停止としていた経営者保険を除く第三分野商品では、認知症保険を含む「ジャスト」をはじめとする商品展開が奏功し、増加となっています。
- 基礎利益は、円高・低金利環境継続の影響に加え、利回りの高い債券等の償還タイミングが影響したこともあり、順ざやが前年同期比△188億円減少したことなどから減益となりましたが、期始の想定に沿った動きです。中間純利益については、円高による金融派生商品損益の改善など、市場変動に伴うキャピタル損益の改善が寄与し、増益となりました。
- 次のページをご覧下さい。

国内生命保険事業 – 第一フロンティア生命

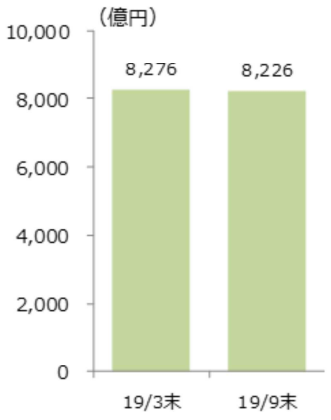
Dai-ichi Life Holdings

- 新契約年換算保険料は、昨年度に販売が好調であった反動などから減少しているが、期始の想定内での進捗
- 市場価格調整(MVA)に係る損益の影響により、中間純利益は赤字となったが、事業利益は増益となり、MVAに係る損益を含まない修正利益も、運用期間満了を迎えた年金の危険準備金戻入などの寄与により、大幅な増益

新契約年換算保険料



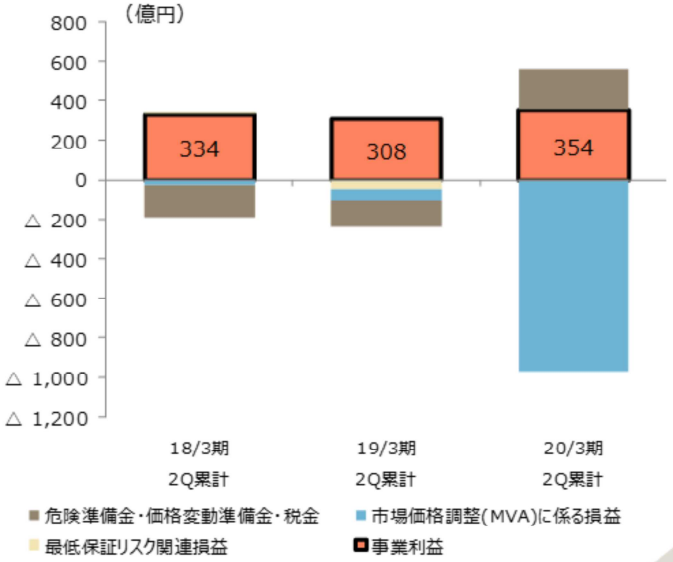
保有契約年換算保険料



(億円)

	19/3期2Q累計	20/3期2Q累計	増減
中間純利益	64	△412	△476
修正利益	108	454	+346

事業利益・中間純利益の構成要素



事業利益は、純利益から最低保証リスク関連損益、市場価格調整(MVA)に係る損益、危険準備金の繰入等を除いた基礎的な収益力を表す内部管理指標です。

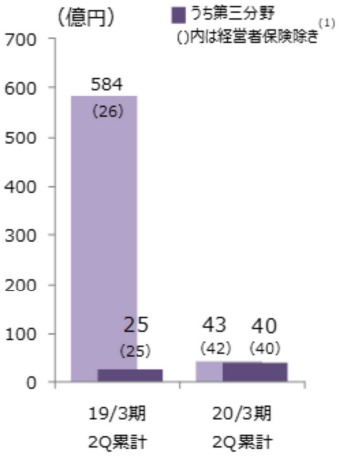
- 第一フロンティア生命の業績について説明します。
- 新契約年換算保険料は、金利低下の影響などもあり、昨年度好調であった反動から減少が続いていますが、期始の想定内での進捗となっています。
- 前のページでご説明したとおり、純利益は、金利低下に伴う市場価格調整に係る損益の影響で赤字となりましたが、市場価格調整に係る損益を含まない修正利益では、運用期間満了を迎えた年金の危険準備金戻入などの寄与により大幅な増益となりました。
- 次のページをご覧下さい。

国内生命保険事業 – ネオファースト生命

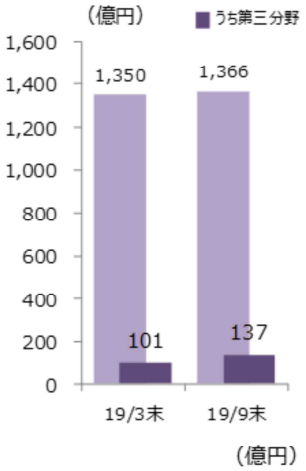
Dai-ichi Life Holdings

- 新契約年換算保険料は、昨年度に販売が拡大した経営者保険の販売停止により大きく減少したが、主力の医療保険など第三分野商品は、新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料ともに順調に拡大
- 修正利益は、医療保険の販売拡大に伴う事業費の増加から減益

新契約年換算保険料

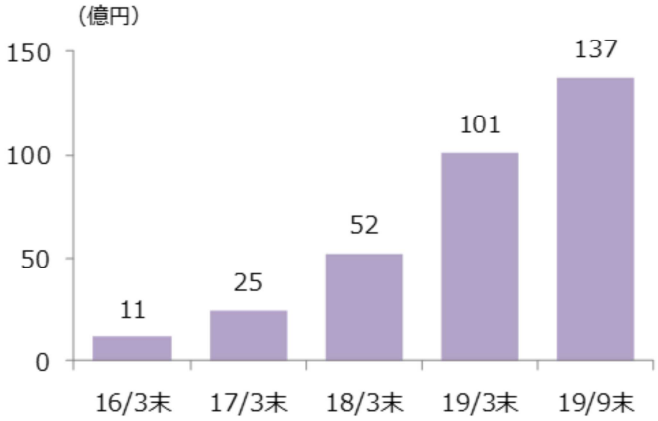


保有契約年換算保険料



	19/3期2Q累計	20/3期2Q累計	増減
中間純利益	△36	△67	△30
修正利益	△36	△67	△30

第三分野保有契約年換算保険料



(1) 19年2月より販売停止としていた経営者向け保険商品を除く。8月より第一生命の営業職員等の専属チャネル、9月より代理店にて販売を再開しています。

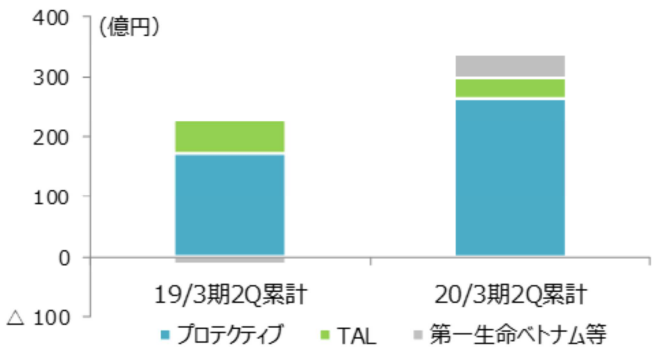
- ネオファースト生命の業績について説明します。
- 新契約年換算保険料は、昨年度に販売が拡大した経営者保険の販売停止により大きく減少したものの、主力である医療保険を中心とする第三分野商品については、新契約年換算保険料、保有契約年換算保険料ともに順調に拡大しました。
- 修正利益は、医療保険の販売好調による事業費の増加から減益となりました。
- 次のページをご覧下さい。

海外生命保険事業・アセットマネジメント事業

Dai-ichi Life Holdings

- 海外生命保険事業は、豪TALが減益となったが、米プロテクティブのリバティ既契約ブロック買収効果の反映や生保事業の改善、第一生命ベトナムの利益貢献などにより、大幅増益
- アセットマネジメント事業は、ジャナス・ヘンダーソンの持分法投資損益が昨年度第２四半期から貢献

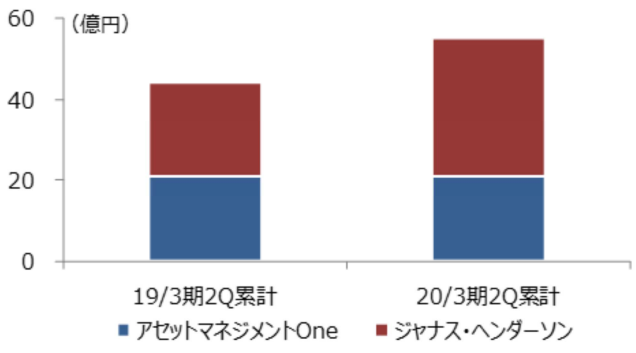
海外生命保険事業・中間純利益



(億円)

	19/3期2Q累計	20/3期2Q累計
プロテクティブ	172	265
TAL	55	32
第一生命ベトナム等	△11	40
海外生命保険事業	216	337

アセットマネジメント事業・中間純利益



(億円)

	19/3期2Q累計	20/3期2Q累計
アセットマネジメントOne	21	21
ジャナス・ヘンダーソン	23	34
アセットマネジメント事業	45	56

- こちらは海外生命保険事業全体、アセットマネジメント事業全体の純利益を示しています。
- 海外生命保険事業は、プロテクティブの買収効果や第一生命ベトナムの利益改善等から増益となりました。
- アセットマネジメント事業では、ジャナス・ヘンダーソンの持分法投資損益が昨年度第2四半期から貢献していることを主因に増益となっています。
- 次のページをご覧下さい。

海外生命保険事業 – プロテクティブ(1)

Dai-ichi Life Holdings

■ リバティ・ライフの買収効果や生保事業の損益改善等が貢献

＜生保事業＞
- 保険金等支払の減少などにより、黒字転換

＜買収事業＞
- 昨年5月に完了したリバティ・ライフの買収効果などにより、増益

＜年金事業＞
- 運用収入の増加

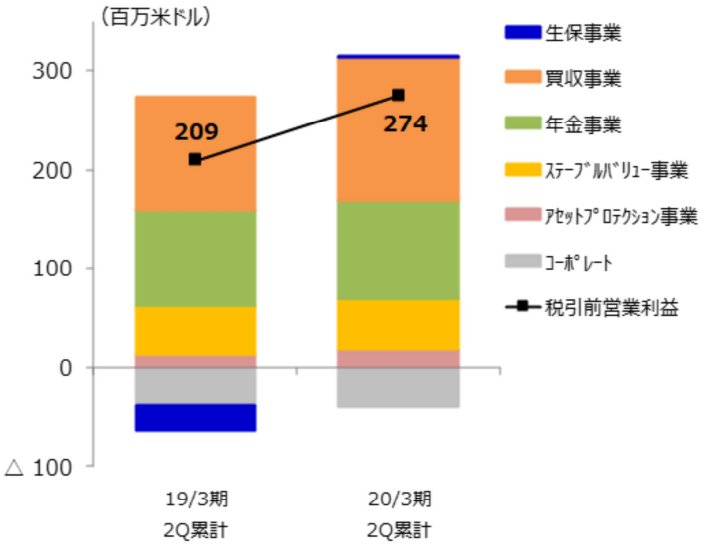
＜ステーブルバリュー事業＞
- 平均受託残高の増加などにより、増益

＜アセットプロテクション事業＞
- 損害率の改善や投資収益の増加などにより、増益

（億円）

	19/3期2Q累計	20/3期2Q累計	増減
中間純利益	172	265	+93
修正利益	172	265	+93

税引前営業利益(2)



(1) プロテクティブの決算日は12月31日です。
(2) 税引前営業利益(Pre-tax Adjusted Operating Earnings)とは、純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標です。

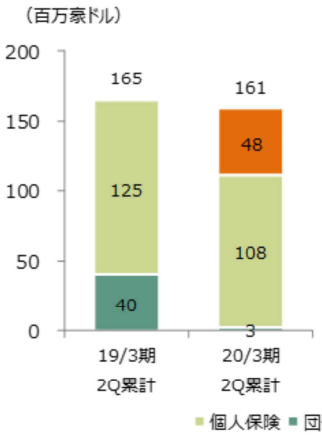
■ プロテクティブの業績について説明します。
■ 税引前営業利益は、リバティ・ライフ既契約ブロック買収効果を主因に、各事業も前年同期を上回る結果となり、増益となりました。
■ 次のページをご覧下さい。

海外生命保険事業 – TAL(1)

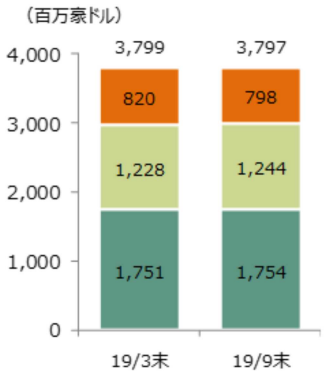
Dai-ichi Life Holdings

- 新契約年換算保険料は、現地の法改正に伴う団体保険の減少をアステロン・ライフが補い、微減
- 基礎的収益力は、法改正を契機とした団体保険の保険金支払の増加により、減益
- 獲得した大型団体保険契約は3Qの計上を予定

新契約年換算保険料



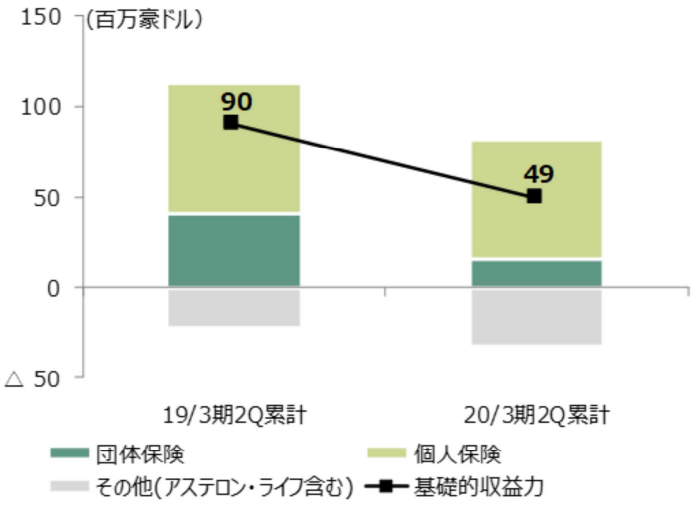
保有契約年換算保険料



（億円）

	19/3期2Q累計	20/3期2Q累計	増減
中間純利益	55	32	△23
修正利益	60	36	△24

基礎的収益力 (2)



(1) 連結対象の豪持株会社（TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd）に係る数値
(2) 基礎的収益力にはアステロン・ライフの統合に係るVOBA(value of business acquired)の償却・統合コスト等を含まない

- TALの業績について説明します。
- オーストラリアでは、強制加入の私的年金であるスーパーアニュエーションに付帯される団体保険に対する法改正があり、過去一定期間拠出のないスーパーアニュエーションの加入者は、7月以降、改めて保障継続の選択をすることが可能となりました。加えて、2020年4月には、保障継続の選択が可能となる対象範囲の拡大が予定されています。
- 今回の法改正の結果、継続を選択しない加入者が増加したことにより、第2四半期において団体保険の新契約年換算保険料が大きく減少しましたが、昨年度買収したアステロン・ライフの貢献により、全体では微減に留まりました。
- また、基礎的収益力は、一時的に契約者からの保険金請求が増加したことなどを受け、減益となりました。
- 第2四半期は法改正直後であり、前年同期比で影響が大きい状況にありますが、そのような環境下、TALではアステロン・ライフの買収や冒頭ご説明した大型の団体保険契約の獲得など、収益基盤の拡大を図っています。
- 次に13ページをご覧下さい。

業績ガイダンス

第一生命グループ業績予想 – 2020年3月期業績予想

Dai-ichi Life Holdings

■ 第2四半期末時点において、通期予想は据え置き

（億円）

	19/3期	20/3期（予）※2019/5/15 発表予想	増減
連結経常収益	**71,840**	**69,310**	**△ 2,530**
第一生命	37,395	34,850	△ 2,545
第一フロンティア生命	20,369	16,950	△ 3,419
プロテクティブ（百万米ドル）	8,717	10,370	+ 1,652
TAL（百万豪ドル）	3,917	4,890	+ 972
連結経常利益	**4,329**	**4,170**	**△ 159**
第一生命	3,466	3,140	△ 326
第一フロンティア生命	391	410	+ 18
プロテクティブ（百万米ドル）	383	430	+ 46
TAL（百万豪ドル）	153	230	+ 76
連結純利益(1)	**2,250**	**2,260**	**+ 9**
第一生命	1,729	1,510	△ 219
第一フロンティア生命	199	300	+ 100
プロテクティブ（百万米ドル）	302	350	+ 47
TAL（百万豪ドル）	111	160	+ 48
1株当たり配当金	**58円**	**62円**	**+4円**
グループ修正利益	**2,363**	**2,400程度**	**+ 36**

（参考：基礎利益）

第一生命グループ	6,058	5,100程度	△ 958
第一生命	4,791	3,900程度	△ 891

(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する純利益を記載しています。

■ 先にご説明のとおり、第一生命を中心とした市場変動に伴う増益要因を除いては概ね想定通りの進捗と考えており、下期の市場変動の影響なども踏まえ、通期予想は据え置きとしています。

■ 次に15ページをご覧下さい。

グループEEV

EEV – ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (1)

Dai-ichi Life Holdings

- グループEEVは、プロテクティブによるグレートウェストの既契約ブロック買収の効果＋500億円などにより、前期末比で増加
- 豪TALの大型団体保険契約獲得は、第３四半期の新契約価値に計上予定

【第一生命グループ】 （億円）

	19/3末	19/9末	増減
グループEEV	59,365	60,204	＋839
対象事業（covered business）のEEV(1)	61,287	61,350	＋63
修正純資産	71,278	75,513	＋4,234
保有契約価値	△ 9,991	△ 14,162	△4,171
対象事業以外の純資産等に係る調整(2)	△ 1,922	△ 1,145	＋776

	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減
新契約価値	914	650	△ 263
収入保険料現価　（B）	25,934	21,583	△4,351
新契約マージン　（A/B）	3.53%	3.02%	△ 0.51ポイント

(1) 対象事業（covered business）とは、EEV原則で定められているEV手法を適用した範囲のことで、EEV原則では、対象事業のEEVを開示することを求めています。第一生命グループでは従前は、第一生命グループが行うすべての事業を対象事業としていましたが、2016年10月1日付の持株会社体制移行後は、生命保険事業を行う子会社（第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命、プロテクティブ、TAL、第一生命ベトナムおよびこれらの子会社）を対象事業としました。

(2) 「対象事業以外の純資産等に係る調整」には、第一生命ホールディングスの単体貸借対照表の純資産の部（19/3末：12,571億円、19/9末：13,229億円）、第一生命ホールディングスの生命保険事業子会社6社に対する出資に係る調整（19/3末：△14,666億円、19/9末：△14,438億円）、第一生命ホールディングスが保有する資産・負債を時価評価する調整が含まれます。

- 最後にグループEEVの状況についてご説明します。
- 2019年9月末のグループEEVは約6.0兆円と、前期末から微増となりました。プロテクティブがグレートウェストの既契約ブロック買収により増加したこと等が主な増加要因です。
- また、新契約価値はグループ全体では前年同期比で減少しましたが、TALが獲得した大型団体保険契約の価値を約150億円と見込んでおり、第３四半期に計上される予定です。
- 新契約マージンは前期末から低下し3.02%となりました。金利低下の影響に加え、冒頭ご説明した第一フロンティア生命の新契約価値計上におけるテクニカルな要因も含まれています。
- 私からの説明は以上です。
- 11月21日には弊社ビルにて決算・経営説明会を開催します。海外戦略など社長の稲垣、海外グループ会社から説明させていただきますので、是非御参加ください。ありがとうございました。

EEV – ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (2)

Dai-ichi Life Holdings

【グループ各社（国内）のEEV】

（億円）

第一生命	19/3末	19/9末	増減
EEV	45,505	44,605	△899
修正純資産	60,590	64,182	＋3,591
保有契約価値	△ 15,085	△ 19,576	△4,490

（億円）

	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減
新契約価値	601	573	△27
収入保険料現価	9,275	9,503	＋228
新契約マージン	6.48%	6.03%	△ 0.45ポイント

（億円）

第一フロンティア生命	19/3末	19/9末	増減
EEV	4,168	4,155	△12
修正純資産	4,294	5,156	+862
保有契約価値	△ 126	△ 1,001	△874

（億円）

	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減
新契約価値	47	△ 92	△139
収入保険料現価	8,682	6,411	△2,270
新契約マージン	0.55%	△ 1.44%	△ 1.99ポイント

（億円）

ネオファースト生命	19/3末	19/9末	増減
EEV	937	1,004	+67
修正純資産	207	142	△64
保有契約価値	730	862	+131

（億円）

	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減
新契約価値	156	78	△77
収入保険料現価	3,149	653	△2,496
新契約マージン	4.96%	12.08%	＋ 7.12ポイント
新契約価値 *	159	104	△55
新契約マージン*	5.08%	15.99%	＋ 10.91ポイント

*均衡事業費ベース

EEV – ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (3)

Dai-ichi Life Holdings

【グループ各社（海外）のEEV】

（億円）

プロテクティブ	18/12末	19/6末	増減
EEV	6,627	7,593	+965
修正純資産	4,241	3,728	△512
保有契約価値	2,386	3,864	+1,478
※換算為替レート（円/米ドル）	111.00	107.79	

（億円）

	18/12期 2Q累計	19/12期 2Q累計	増減
新契約価値	7	△3	△11
収入保険料現価	3,153	3,285	+132
新契約マージン	0.24%	△ 0.12%	△ 0.36ポイント
※換算為替レート（円/米ドル）	110.54	107.79	

（億円）

ＴＡＬ	19/3末	19/9末	増減
EEV	3,399	3,307	△91
修正純資産	1,759	2,092	+333
保有契約価値	1,640	1,215	△424
※換算為替レート（円/豪ドル）	78.64	72.88	

（億円）

	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減
新契約価値	68	58	△10
収入保険料現価	1,251	1,342	+91
新契約マージン	5.51%	4.33%	△ 1.18ポイント
※換算為替レート（円/豪ドル）	81.83	72.88	

（億円）

第一生命ベトナム	18/12末	19/6末	増減
EEV	853	873	+19
修正純資産	390	401	+11
保有契約価値	463	472	+8
※換算為替レート（円/越ドン）	0.0048	0.0046	

（億円）

	18/12期 2Q累計	19/12期 2Q累計	増減
新契約価値	32	36	+ 3
収入保険料現価	421	385	△36
新契約マージン	7.81%	9.49%	+ 1.69ポイント
※換算為替レート（円/越ドン）	0.0048	0.0046	

第一生命グループ及び第一生命のEEV感応度（2019年9月末）

Dai-ichi Life Holdings

第一生命グループ

（単位：億円、上段：変化額、下段：EEVに対する変化率）

前提条件	EEV感応度	対象事業のEEV			対象事業以外の純資産等に係る調整	新契約価値
			修正純資産	保有契約価値		
リスク・フリー・レート50bp上昇	4,403 7%	4,331 7%	△ 15,605 △ 26%	19,937 33%	71 0%	70 11%
リスク・フリー・レート50bp低下	△ 5,360 △ 9%	△ 5,286 △ 9%	17,064 28%	△ 22,350 △ 37%	△ 74 △ 0%	△ 85 △ 13%
株式・不動産価値10%下落	△ 4,644 △ 8%	△ 4,503 △ 7%	△ 4,314 △ 7%	△ 188 △ 0%	△ 141 △ 0%	0 0%
第一生命グループのEEV	60,204	61,350			△ 1,145	650

第一生命

（単位：億円、上段：変化額、下段：EEVに対する変化率）

前提条件	EEV感応度			新契約価値
		修正純資産	保有契約価値	
リスク・フリー・レート50bp上昇	4,407 10%	△ 13,762 △ 31%	18,169 41%	63 11%
リスク・フリー・レート50bp低下	△ 5,462 △ 12%	15,108 34%	△ 20,571 △ 46%	△ 81 △ 14%
株式・不動産価値10%下落	△ 4,394 △ 10%	△ 4,412 △ 10%	18 0%	0 0%
第一生命のＥＥＶ	44,605			573

資産・負債の対応を考慮したEEVの再分類

Dai-ichi Life Holdings

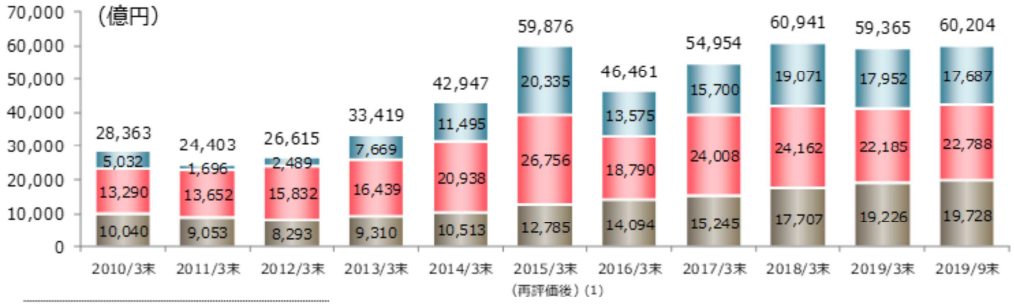
第一生命グループのEEV（億円）

	19/3末	19/9末	増減
グループEEV	59,365	60,204	+839
対象事業（covered business）のEEV	61,287	61,350	+63
修正純資産	71,278	75,513	+4,234
保有契約価値	△ 9,991	△ 14,162	△4,171
対象事業以外の純資産等に係る調整	△ 1,922	△ 1,145	+776

資産・負債の対応を考慮した再分類

	19/3末	19/9末
グループEEV	59,365	60,204
確定利付資産以外の含み損益等(2)	17,952	17,687
保有契約価値+確定利付資産の含み損益等(3)	22,185	22,788
純資産等+負債中の内部留保(4)	19,226	19,728

第一生命グループのEEV推移 【資産・負債の対応を考慮した再分類】



保有契約価値+含み損益等:
保険契約の保有により生じる将来利益

確定利付資産以外の含み損益等(2)

保有契約価値＋確定利付資産の含み損益等(3)

純資産等
＋負債中の内部留保(4)
：**実現利益の累積額に相当**

(1) 2015/3末のEVは、終局金利を用いた方法による再評価後の数値を記載しております。
(2) 第一生命が保有する確定利付資産以外の資産（株式、外貨建債券（ヘッジ外債を除く）、不動産等）の含み損益等の額を計上しています。
(3) 保有契約価値に、第一生命の確定利付資産ならびに第一フロンティア生命およびネオファースト生命の資産の含み損益等を加算・調整した額を計上しています。本項目は、未実現利益のうち、主に金利の影響を受ける部分であり、金利水準等の変化に応じた、保有契約価値および確定利付資産の含み損益等の変動額は、お互いに相殺関係にあります。
(4) 対象事業のEEVの修正純資産に対象事業以外の純資産等に係る調整を反映し、含み損益等を除いた額を計上しています。

参考データ

第一生命グループ業績 – 契約動向

Dai-ichi Life Holdings

	新契約年換算保険料			保有契約年換算保険料		
	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	前年同期比	19/3末	19/9末	前期末比
国内３社計	2,102	1,128	△46.3%	30,924	30,764	△0.5%
第一生命	460	427	△7.3%	21,297	21,171	△0.6%
第三分野	278	265	△4.5%	6,752	6,843	+1.3%
第一フロンティア生命	1,056	657	△37.8%	8,276	8,226	△0.6%
ネオファースト生命	584	43	△92.5%	1,350	1,366	+1.2%
海外３社計	446	397	△11.1% (△5.9%)	8,634	8,724	+1.1% (+5.7%)
プロテクティブ (1)	204	183	△10.0% (△7.7%)	5,070	5,370	+5.9% (+9.1%)
ＴＡＬ	135	117	△13.4% (△2.7%)	2,988	2,767	△7.4% (△0.0%)
第一生命ベトナム (1)	106	95	△10.5% (△6.6%)	575	586	+1.8% (+6.3%)
第一生命グループ計	**2,549**	**1,525**	**▲40.2% (▲39.2%)**	**39,558**	**39,489**	**▲0.2% (+0.8%)**

（億円）

上段は円換算、下段は現地通貨建の変化率
海外３社計、グループ計の下段は為替変動の影響を除く伸び率

＜参考＞
第一生命のチャネル別新契約年換算保険料
（億円）

	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減
第一生命	460	427	△ 33
訪問型代理店	36	13	△ 23
第一フロンティア生命	1,056	657	△ 398
第一生命の営業職	159	141	△ 18
同、訪問型代理店	6	13	＋ 6
ネオファースト生命	584	43	△ 541
第一生命の営業職	34	0	△ 33
同、訪問型代理店	517	16	△ 500
国内生命保険事業計	**2,102**	**1,128**	**△ 973**

(1) プロテクティブ、第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。

第一生命業績 – 基礎利益の内訳

Dai-ichi Life Holdings

（億円）

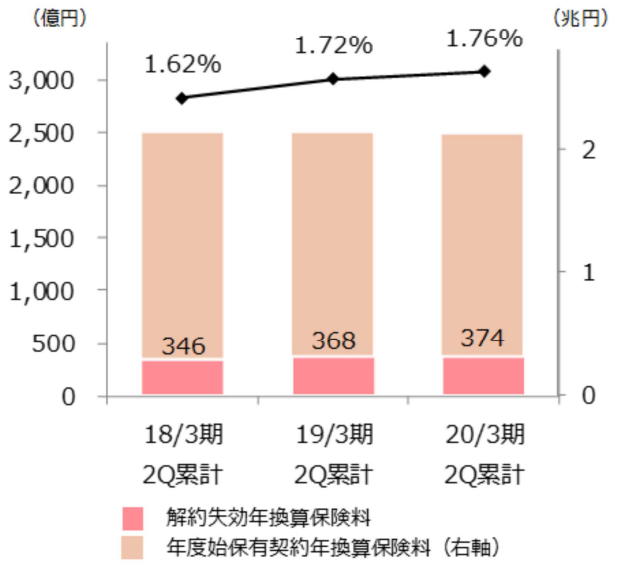
	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減
基礎利益	2,368	2,037	△ 331
うち順ざや	658	469	△ 188
うち保険関係損益	1,710	1,567	△ 143
キャピタル損益	△ 186	317	＋503
うち有価証券売却損益	584	823	＋238
うち金融派生商品損益	△ 396	139	＋536
うち為替差損益	△ 362	△ 499	△ 136
臨時損益	△ 391	△ 378	＋12
うち新規追加責任準備金繰入額	△ 390	△ 377	＋13
うち危険準備金繰入額	-	-	-
経常利益	1,791	1,976	＋184

第一生命業績 – 解約失効、営業職数および生産性

Dai-ichi Life Holdings

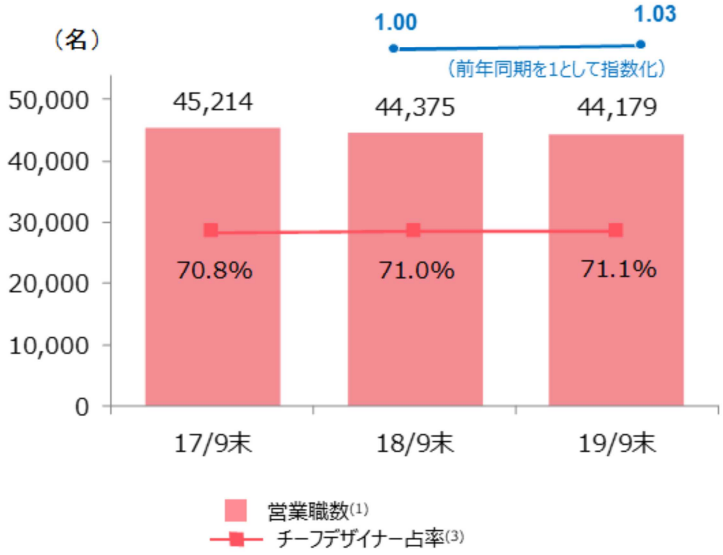
解約失効（個人保険・個人年金、年換算保険料ベース）

解約失効率



営業職数および生産性

一人あたり営業収益価値 (2)

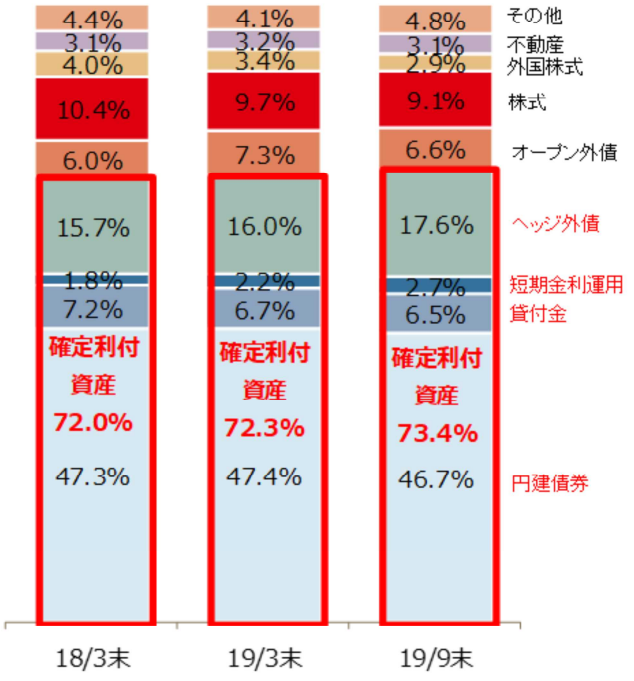


(1) 営業職については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。
(2) 各期間における営業収益価値を分子、各期間の営業職数（補助的業務に従事する者を除く）の平均値を分母として計算しています。営業収益価値とは、営業部門の獲得収益を表す当社独自の指標であり、経済環境の変動要因を除外した新契約価値に相当します。
(3) 所定の成績水準を満たす生涯設計デザイナーにライフプロフェッショナル職を加えた、第一生命の中核たる営業職の占率を指します。

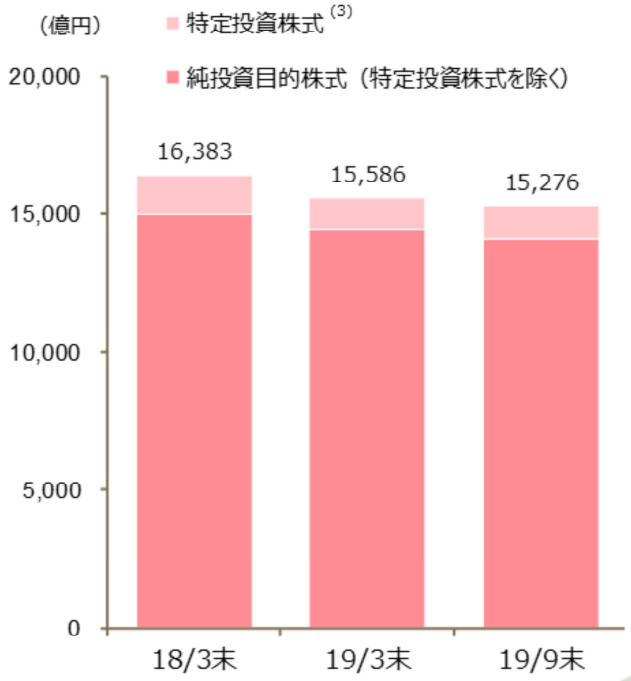
第一生命業績 – 一般勘定資産運用の状況 (1)

Dai-ichi Life Holdings

資産の構成（一般勘定） (1)



国内株式の簿価 (2)

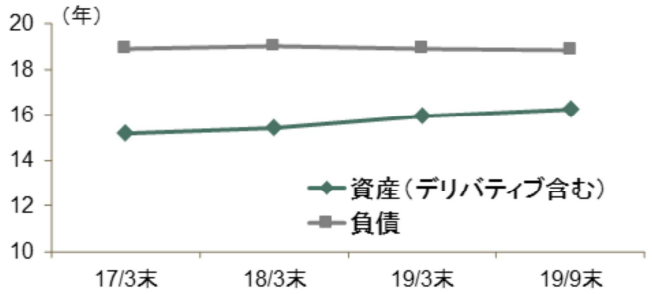


(1) 貸借対照表価額ベース
(2) 国内株式のうち時価のあるもの（子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く）
(3) 純投資目的以外の目的で保有する株式（非上場国内株式、みなし保有株式は除く）

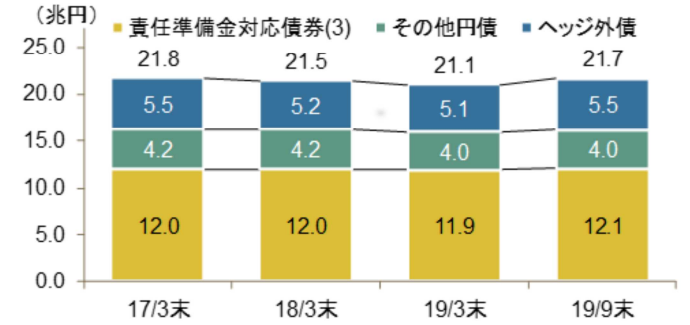
第一生命業績 – 一般勘定資産運用の状況 (2)

Dai-ichi Life Holdings

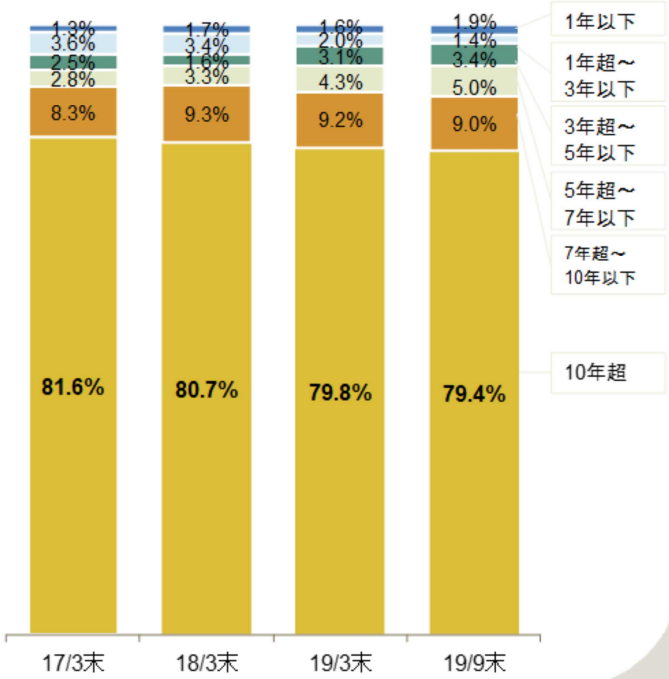
確定利付資産と負債のデュレーション (1)



債券の積み増し状況 (2)



国内債券の残存期間 (4)

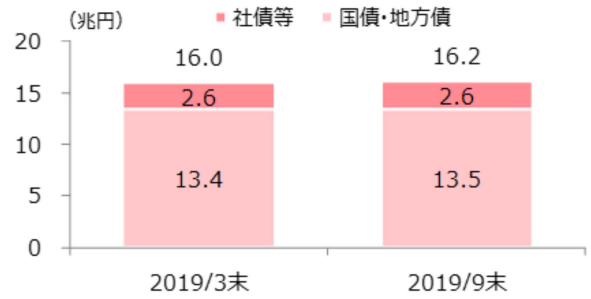


(1) 一般勘定資産のうち主に個人保険・個人年金に関わる経理区分の保険負債と円建確定利付資産（デリバティブ含む）のデュレーション
(2) 一般勘定資産のうち円建債券とヘッジ外債を対象としています。簿価ベース
(3) 責任準備金対応債券とは、保険会社だけに認められた区分で、一定の要件を満たせば償却原価法による評価が認められているものを指します。
(4) 一般勘定資産のうち国内債券を対象としています。貸借対照表価額ベース

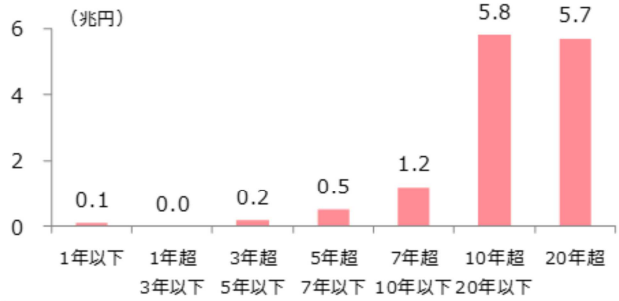
第一生命業績 – 一般勘定資産運用の状況 (3)

Dai-ichi Life Holdings

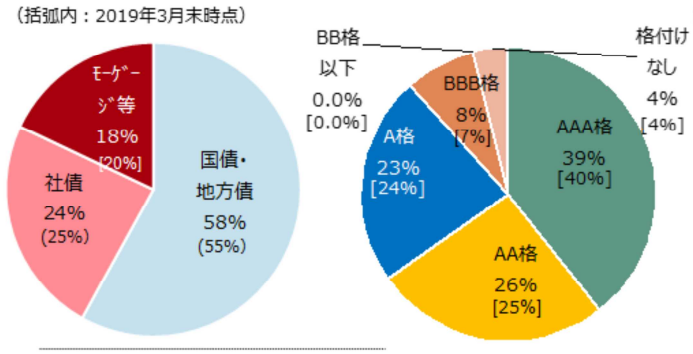
円建債券の内訳 (1)



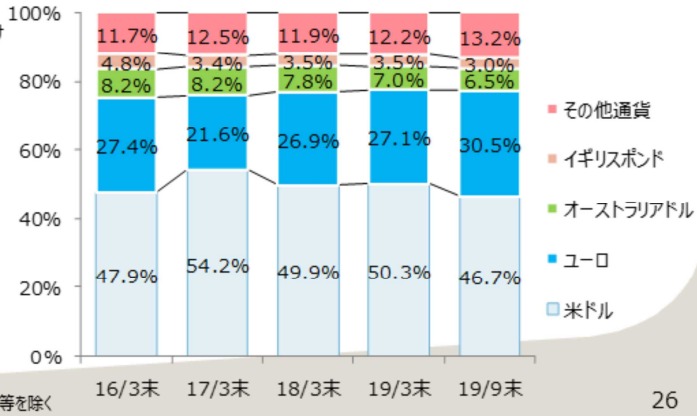
国債の残存期間別残高 (2) (2019年9月末)



外貨建債券の内訳 (2)(3) (2019年9月末)



外貨建債券の通貨別構成 (2)



(1) 簿価ベース
(2) 貸借対照表価額ベース
(3) 格付けはS&P・Moody'sの２社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用、モーゲージ等を除く

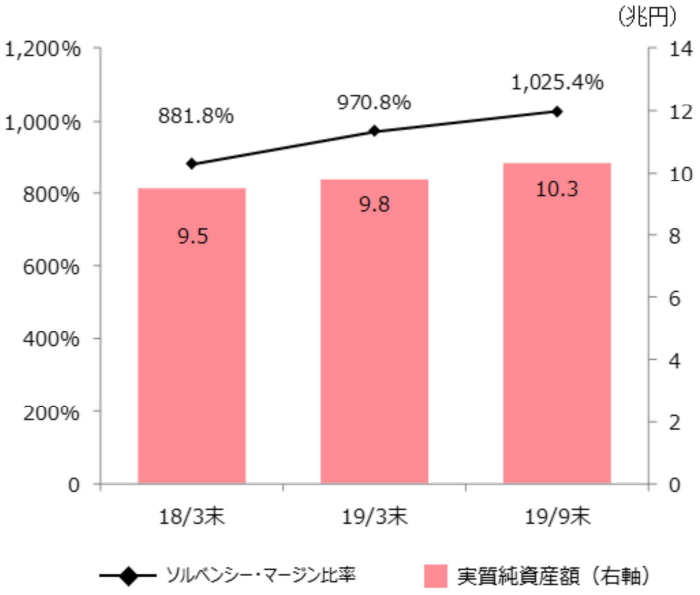
第一生命業績 – 健全性指標

含み損益（一般勘定）

（億円）

	19/3末	19/9末	増減
有価証券	60,386	65,616	+5,229
国内債券	34,776	37,201	+2,424
国内株式	17,913	17,077	△836
外国債券	6,026	9,664	+3,637
外国株式	1,336	1,222	△113
不動産	2,742	2,976	+233
その他共計	63,339	69,050	+5,710

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額



＜参考＞ 第一生命ホールディングスの
連結ソルベンシー・マージン比率：
2019年9月末 936.5%

第一生命業績 – 金融市場への感応度（2019年9月末）

Dai-ichi Life Holdings

	感応度 (1)	含み損益ゼロ水準 (2)
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 1,400億円の増減 （2019年3月末：1,500億円）	日経平均株価 ¥10,100 （2019年3月末：¥9,900）
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 2,800億円の増減※ （2019年3月末：2,700億円） ※その他有価証券区分：300億円の増減 （2019年3月末：300億円）	10年国債利回り 1.1%※ （2019年3月末：1.2%） ※その他有価証券区分：1.4% （2019年3月末：1.4%）
外国証券	ドル／円 1円の変動で 280億円の増減 （2019年3月末：290億円）	ドル／円 $1 ＝ ¥108 （2019年3月末：¥108）

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度を記載しています。
(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準を記載しています。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準を記載しています。

海外生命保険事業 – 米プロテクティブ業績

Dai-ichi Life Holdings

業績ハイライト (1)

（百万米ドル）

	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	前年同期比	
生保事業	△ 25.5	0.7	+ 26.3	--
買収事業	114.5	144.7	+ 30.1	+26.3%
年金事業	96.4	99.4	+ 3.0	+3.1%
ｽﾃｰﾌﾞﾙﾊﾞﾘｭｰ事業	49.0	50.3	+ 1.2	+2.6%
ｱｾｯﾄﾌﾟﾛﾃｸｼｮﾝ事業	13.3	18.9	+ 5.5	+41.6%
ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ	△ 38.4	△ 40.1	△ 1.6	△4.3%
税引前営業利益 (2)	209.4	274.1	+ 64.7	+30.9%
キャピタル損益（運用収支）	△ 151.7	256.4	+ 408.2	--
キャピタル損益（金融派生商品損益）	132.9	△ 225.6	△ 358.5	--
法人税等	34.9	58.5	+ 23.6	+67.6%
中間純利益	155.6	246.3	+ 90.7	+58.3%

＜参考＞

（円）

	18/6末	19/6末
為替レート（米ドル）	110.54	107.79

(1) 米プロテクティブの決算日は12月31日です。
(2) 税引前営業利益(Pre-tax Adjusted Operating Earnings)とは、当期利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標です。

海外生命保険事業 – 豪TAL業績(1)

Dai-ichi Life Holdings

新契約年換算保険料

（百万豪ドル）

		18/3期 2Q累計	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減
個人保険	新契約	70	66	39	△ 27
	既契約増減 (※)	61	58	69	＋10
	小計	132	125	108	△ 16
団体保険	新契約	160	21	72	＋50
	既契約増減 (※)	△15	18	△68	△ 87
	小計	145	40	3	△ 36
アステロン・ライフ	新契約	–	–	8	＋8
	既契約増減 (※)	–	–	40	＋40
	小計	–	–	48	＋48
合計		277	165	161	△ 4

※既契約増減は契約更新や料率改訂等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す

純利益と基礎的収益力の差異

（百万豪ドル）

	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	前年同期比
純利益(A)(2)	67	43	△35%
修正額(B)(3)	22	5	
うち負債割引率の変化	△ 2	55	
うち償却負担	9	△ 30	
うち優先株配当	4	4	
その他	10	△ 23	
基礎的収益力=(A)+(B) (Underlying profit)	90	49	△45%

<参考>

	18/9末	19/9末
為替レート（豪ドル）	81.83円	72.88円

(1) 連結対象の豪持株会社（TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd）に係る数値
(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示
(3) アステロン・ライフの統合に係るVOBA(value of business acquired)の償却及び統合コストを含む

第一生命グループ – 連結財務諸表（要約）

Dai-ichi Life Holdings

連結損益計算書

（億円）

	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減
経常収益	35,969	36,561	+592
保険料等収入	25,917	24,588	△1,328
資産運用収益	8,864	10,538	+1,673
うち利息・配当金等収入	6,108	6,365	+257
うち有価証券売却益	1,370	1,698	+327
うち金融派生商品収益	-	-	-
うち為替差益	391	-	△391
うち特別勘定資産運用益	897	631	△265
その他経常収益	1,187	1,434	+246
経常費用	33,806	34,624	+817
うち保険金等支払金	18,049	24,724	+6,674
うち責任準備金等繰入額	8,760	801	△7,958
うち資産運用費用	1,785	4,172	+2,387
うち有価証券売却損	761	268	△492
うち有価証券評価損	31	146	+115
うち金融派生商品費用	355	192	△163
うち為替差損	-	3,026	+3,026
うち特別勘定資産運用損	-	-	-
うち事業費	3,493	3,349	△143
経常利益	2,162	1,937	△225
特別利益	21	3	△17
特別損失	141	119	△21
契約者配当準備金繰入額	403	409	+6
税金等調整前中間純利益	1,639	1,412	△227
法人税等合計	476	494	+18
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	1,163	917	△245

連結貸借対照表

（億円）

	19/3末	19/9末	増減
資産の部合計	559,412	601,745	+42,332
うち現預金・コール	12,556	17,538	+4,982
うち買入金銭債権	1,991	2,056	+64
うち有価証券	470,650	490,123	+19,473
うち貸付金	33,532	34,649	+1,116
うち有形固定資産	11,452	11,612	+160
うち繰延税金資産	171	138	△32
負債の部合計	522,276	558,488	+36,212
うち保険契約準備金	482,794	503,254	+20,459
うち責任準備金	473,257	493,755	+20,498
うち社債	10,622	11,033	+410
うちその他負債	14,209	24,525	+10,315
うち退職給付に係る負債	4,223	4,241	+17
うち価格変動準備金	2,182	2,295	+113
うち繰延税金負債	3,110	5,008	+1,898
純資産の部合計	37,135	43,256	+6,120
うち株主資本合計	17,088	17,125	+37
うちその他の包括利益累計額合計	20,036	26,120	+6,084
うちその他有価証券評価差額金	21,015	27,351	+6,335
うち土地再評価差額金	△134	△131	+3

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含みます。これらについては益又は損が発生するものの、業績に大きな影響を与えるものではありません。
（特別勘定資産運用益/損　為替差益/損　金融派生商品収益/費用）

第一生命－財務諸表（要約）

Dai-ichi Life Holdings

損益計算書

（億円）

	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減
経常収益	18,277	18,070	△206
保険料等収入	11,201	11,615	+413
資産運用収益	6,022	5,526	△496
うち利息・配当金等収入	4,102	3,885	△216
うち有価証券売却益	1,338	1,081	△256
うち金融派生商品収益	-	139	+139
うち特別勘定資産運用益	481	367	△114
その他経常収益	1,053	929	△124
経常費用	16,486	16,094	△391
うち保険金等支払金	10,792	10,435	△356
うち責任準備金等繰入額	421	1,078	+657
うち資産運用費用	1,865	1,264	△601
うち有価証券売却損	753	258	△495
うち有価証券評価損	24	142	+117
うち金融派生商品費用	396	-	△396
うち為替差損	362	499	+136
うち特別勘定資産運用損	-	-	-
うち事業費	1,944	1,963	+18
経常利益	1,791	1,976	+184
特別利益	21	3	△17
特別損失	115	90	△24
契約者配当準備金繰入額	403	409	+6
税引前中間純利益	1,293	1,480	+186
法人税等合計	353	416	+63
中間純利益	940	1,063	+122

貸借対照表

（億円）

	19/3末	19/9末	増減
資産の部合計	359,471	370,466	+10,994
うち現預金・コール	7,970	9,765	+1,794
うち買入金銭債権	1,991	2,056	+64
うち有価証券	307,555	316,200	+8,645
うち貸付金	23,482	23,434	△47
うち有形固定資産	11,228	11,325	+96
うち繰延税金資産	-	-	-
負債の部合計	330,618	340,014	+9,395
うち保険契約準備金	308,826	309,728	+902
うち責任準備金	303,537	304,575	+1,037
うち危険準備金	5,984	5,984	-
うち社債	4,762	4,762	-
うちその他負債	6,394	15,237	+8,842
うち退職給付引当金	4,006	4,025	+19
うち価格変動準備金	1,984	2,069	+85
うち繰延税金負債	2,011	2,918	+907
純資産の部合計	28,852	30,451	+1,599
うち株主資本合計	6,841	6,029	△811
うち評価・換算差額等合計	22,011	24,422	+2,410
うちその他有価証券評価差額金	22,111	24,337	+2,225
うち土地再評価差額金	△134	△131	+3

第一フロンティア生命－財務諸表（要約）

Dai-ichi Life Holdings

損益計算書

（億円）

	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減
経常収益	11,051	12,404	+ 1,352
うち保険料等収入	9,141	7,081	△ 2,059
うち資産運用収益	1,910	1,811	△ 98
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益	-	-	-
うち為替差益	753	-	△ 753
経常費用	10,908	12,788	+ 1,879
うち保険金等支払金	3,318	9,795	+ 6,476
うち責任準備金等繰入額	6,977	14	△ 6,963
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額	△ 75	△ 134	△ 59
うち危険準備金繰入額	55	△ 233	△ 289
うち資産運用費用	180	2,607	+ 2,426
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失	180	31	△ 148
うち為替差損	-	2,527	+ 2,527
うち事業費	377	321	△ 55
経常利益（△は損失）	142	△ 384	△ 527
特別利益	-	-	-
特別損失	24	28	+ 3
法人税等合計	54	0	△ 54
中間純利益（△は損失）	64	△ 412	△ 476

【参考】

中間純利益（△は損失）	64	△ 412	△ 476
最低保証リスク関連損益(1)	△ 47	△ 7	+ 40
市場価格調整（MVA）による損益(2)	△ 61	△ 964	△ 902
事業利益	308	354	+ 46
危険準備金繰入、価格変動準備金繰入、税金	△ 134	205	+ 339

貸借対照表

（億円）

	19/3末	19/9末	増減
資産の部合計	87,554	91,271	+ 3,717
うち現預金・コール	2,099	4,156	+ 2,057
うち有価証券	78,580	76,839	△ 1,740
負債の部合計	85,607	88,022	+ 2,414
うち保険契約準備金	82,414	78,918	△ 3,496
うち責任準備金	82,217	78,707	△ 3,510
うち危険準備金	1,314	1,080	△ 233
純資産の部合計	1,947	3,249	+ 1,302
うち株主資本合計	1,500	1,087	△ 412
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△ 349	△ 762	△ 412
うちその他有価証券評価差額金	446	2,161	+ 1,715

（1） 最低保証リスク関連損益には、最低保証リスクに係る責任準備金繰入額及び同ヘッジ損益に加え、変額商品の危険保険料や最低保証に係る支払、再保険収支等が含まれます（19/3期2Q累計：57億円、 20/3期2Q累計：△110億円）。

（2） 市場価格調整（MVA）に係る責任準備金繰入／戻入のうち、資産運用損益勘定で相殺されて、経常利益に影響を及ぼさない部分は除いています。

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含みます。これらについては益又は損が発生するものの、業績に大きな影響を与えるものではありません。
（特別勘定資産運用益/損　為替差益/損　金融派生商品収益/費用）

米プロテクティブ－財務諸表（要約）

Dai-ichi Life Holdings

損益計算書(1)(2)

（百万米ドル）

	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減
経常収益	4,265	6,378	+2,113
保険料等収入	2,773	2,887	+113
資産運用収益	1,260	2,957	+1,696
その他経常収益	230	533	+303
経常費用	4,073	6,073	+1,999
保険金等支払金	2,621	2,771	+149
責任準備金等繰入額	677	2,338	+1,661
資産運用費用	206	401	+195
事業費	434	469	+34
その他経常費用	133	93	△40
経常利益	191	305	+113
特別利益	–	0	+0
特別損失	0	0	△0
法人税等合計	34	58	+23
中間純利益	155	246	+90

貸借対照表(1)(2)

（百万米ドル）

	18/12末	19/6末	増減
資産の部合計	89,928	117,424	+27,495
うち現預金	251	310	+58
うち有価証券	69,105	82,951	+13,845
うち貸付金	9,426	10,773	+1,346
うち有形固定資産	191	219	+27
うち無形固定資産	3,117	3,527	+410
うちのれん	825	825	–
うちその他の無形固定資産	2,259	2,672	+412
うち再保険貸	188	11,625	+11,437
負債の部合計	84,161	109,061	+24,900
うち保険契約準備金	75,919	99,217	+23,297
うち再保険借	279	381	+102
うち社債	4,338	4,257	△81
うちその他負債	2,702	3,949	+1,246
純資産の部合計	5,767	8,362	+2,595
株主資本合計	7,193	7,639	+445
その他の包括利益累計額合計	△1,425	723	+2,149

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております。
(2) 米プロテクティブの決算日は12月31日です。

豪TAL －財務諸表（要約）

Dai-ichi Life Holdings

損益計算書 (1)(2)

（百万豪ドル）

	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減
経常収益	1,855	2,792	+936
保険料等収入	1,745	2,513	+768
資産運用収益	45	215	+169
その他経常収益	64	63	△0
経常費用	1,757	2,722	+965
保険金等支払金	1,200	1,838	+637
責任準備金等繰入額	141	288	+147
資産運用費用	19	32	+13
事業費	339	475	+135
その他経常費用	56	87	+31
経常利益	98	69	△28
特別損益	△0	－	+0
法人税等合計	30	25	△4
中間純利益	67	43	△23
基礎的収益力 (Underlying profit)	90	49	△40

貸借対照表 (1)(2)

（百万豪ドル）

	19/3末	19/9末	増減
資産の部合計	11,341	11,644	+303
現預金	933	849	△83
有価証券	6,543	6,824	+281
有形固定資産	0	52	+51
無形固定資産	1,122	1,108	△13
のれん	786	786	－
その他無形固定資産	335	322	△13
再保険貸	285	279	△5
その他資産	2,242	2,342	+100
繰延税金資産	213	187	△26
負債の部合計	8,354	8,650	+295
保険契約準備金	6,736	7,053	+316
再保険借	363	338	△24
社債	246	248	+2
その他負債	1,008	1,009	+1
繰延税金負債	－	－	－
純資産の部合計	2,986	2,994	+7
株主資本合計	2,986	2,994	+7
資本金	2,130	2,130	－
利益剰余金	855	863	+7

(1) 連結対象の豪持株会社（TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd）に係る数値
(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております（基礎的収益力を除く）

主要企業別損益計算書（要約）

Dai-ichi Life Holdings

（億円）

	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			プロテクティブ			TAL			連結		
	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減	18/12期 2Q累計	19/12期 2Q累計	増減	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減
経常収益	18,277	18,070	△206	11,051	12,404	+1,352	841	672	△169	4,714	6,875	+2,160	1,518	2,034	+516	35,969	36,561	+592
保険料等収入	11,201	11,615	+413	9,141	7,081	△2,059	841	672	△169	3,066	3,112	+46	1,428	1,831	+403	25,917	24,588	△1,328
資産運用収益	6,022	5,526	△496	1,910	1,811	△98	0	0	+0	1,393	3,188	+1,794	37	156	+119	8,864	10,538	+1,673
うち利息・配当金等収入	4,102	3,885	△216	719	897	+177	0	0	+0	1,273	1,538	+265	3	24	+20	6,108	6,365	+257
うち有価証券売却益	1,338	1,081	△256	14	600	+586	–	–	–	16	15	△0	–	–	–	1,370	1,698	+327
うち金融派生商品収益	–	139	+139	–	–	–	–	–	–	99	–	△99	–	–	–	–	–	–
うち為替差益	–	–	–	753	–	△753	–	–	–	–	–	–	–	0	+0	391	–	△391
うち特別勘定資産運用益	481	367	△114	415	263	△151	–	–	–	–	–	–	–	–	–	897	631	△265
その他経常収益	1,053	929	△124	0	3,510	+3,510	0	0	+0	254	575	+320	52	46	△6	1,187	1,434	+246
経常費用	16,486	16,094	△391	10,908	12,788	+1,879	878	740	△138	4,503	6,546	+2,043	1,437	1,984	+546	33,806	34,624	+817
うち保険金等支払金	10,792	10,435	△356	3,318	9,795	+6,476	26	124	+98	2,897	2,986	+88	982	1,339	+357	18,049	24,724	+6,674
うち責任準備金等繰入額	421	1,078	+657	6,977	14	△6,963	534	487	△46	748	2,520	+1,771	115	210	+94	8,760	801	△7,958
うち資産運用費用	1,865	1,264	△601	180	2,607	+2,426	0	0	+0	228	433	+204	15	23	+8	1,785	4,172	+2,387
うち有価証券売却損	753	258	△495	0	1	+0	–	–	–	6	9	+2	–	–	–	761	268	△492
うち有価証券評価損	24	142	+117	–	–	–	–	–	–	4	4	+0	–	–	–	31	146	+115
うち金融派生商品費用	396	–	△396	58	42	△15	–	–	–	–	288	+288	–	–	–	355	192	△163
うち為替差損	362	499	+136	–	2,527	+2,527	–	–	–	0	0	+0	0	–	△0	–	3,026	+3,026
うち特別勘定資産運用損	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
うち事業費	1,944	1,963	+18	377	321	△55	315	125	△189	480	505	+25	277	346	+68	3,493	3,349	△143
経常利益	1,791	1,976	+184	142	△384	△527	△36	△67	△30	211	328	+117	80	50	△29	2,162	1,937	△225
特別利益	21	3	△17	–	–	–	–	–	–	–	0	+0	–	–	–	21	3	△17
特別損失	115	90	△24	24	28	+3	0	0	△0	0	0	△0	0	–	△0	141	119	△21
契約者配当準備金繰入額	403	409	+6	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	403	409	+6
税金等調整前当期純利益	1,293	1,480	+186	118	△412	△531	△36	△67	△30	210	328	+118	80	50	△29	1,639	1,412	△227
法人税等合計	353	416	+63	54	0	△54	0	0	+0	38	63	+24	24	18	△5	476	494	+18
少数株主損益	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
中間純利益	940	1,063	+122	64	△412	△476	△36	△67	△30	172	265	+93	55	32	△23	1,163	917	△245

主要企業別貸借対照表（要約）

Dai-ichi Life Holdings

（億円）

	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			プロテクティブ			TAL			連結		
	19/3末	19/9末	増減	19/3末	19/9末	増減	19/3末	19/9末	増減	18/12末	19/6末	増減	19/3末	19/9末	増減	19/3末	19/9末	増減
資産の部合計	359,471	370,466	+10,994	87,554	91,271	+3,717	1,574	1,965	+391	99,820	126,571	+26,750	8,918	8,486	△432	559,412	601,745	+42,332
うち現預金・コール	7,970	9,765	+1,794	2,099	4,156	+2,057	861	1,179	+317	279	334	+55	733	619	△114	12,556	17,538	+4,982
うち買入金銭債権	1,991	2,056	+64	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1,991	2,056	+64
うち有価証券	307,555	316,200	+8,645	78,580	76,839	△1,740	152	238	+86	76,707	89,413	+12,705	5,145	4,973	△171	470,650	490,123	+19,473
うち貸付金	23,482	23,434	△47	–	–	–	0	1	+0	10,463	11,612	+1,148	14	13	△1	33,532	34,649	+1,116
うち有形固定資産	11,228	11,325	+96	3	4	+0	2	2	△0	212	236	+23	0	38	+37	11,452	11,612	+160
うち無形固定資産	1,069	1,109	+40	76	85	+8	3	9	+5	3,460	3,802	+342	882	807	△74	4,448	4,794	+345
負債の部合計	330,618	340,014	+9,395	85,607	88,022	+2,414	1,377	1,836	+458	93,418	117,557	+24,138	6,381	6,129	△252	522,276	558,488	+36,212
うち保険契約準備金	308,826	309,728	+902	82,414	78,918	△3,496	1,308	1,795	+487	84,270	106,946	+22,675	5,297	5,140	△157	482,794	503,254	+20,459
うち責任準備金	303,537	304,575	+1,037	82,217	78,707	△3,510	1,303	1,789	+485	83,491	106,141	+22,650	2,050	1,841	△209	473,257	493,755	+20,498
うち社債	4,762	4,762	–	–	–	–	–	–	–	4,815	4,589	△226	194	181	△12	10,622	11,033	+410
うちその他負債	6,394	15,237	+8,842	902	1,826	+924	67	39	△28	3,000	4,256	+1,256	604	561	△42	14,209	24,525	+10,315
うち退職給付に係る負債	4,006	4,025	+19	–	–	–	–	–	–	90	84	△5	–	–	–	4,223	4,241	+17
うち価格変動準備金	1,984	2,069	+85	198	226	+28	0	0	+0	–	–	–	–	–	–	2,182	2,295	+113
うち繰延税金負債	2,011	2,918	+907	173	840	+667	0	0	+0	931	1,268	+337	–	–	–	3,110	5,008	+1,898
純資産の部合計	28,852	30,451	+1,599	1,947	3,249	+1,302	196	128	△67	6,402	9,014	+2,612	2,537	2,357	△180	37,135	43,256	+6,120
うち株主資本合計	6,841	6,029	△811	1,500	1,087	△412	195	127	△67	8,457	8,938	+480	2,804	2,809	+4	17,088	17,125	+37
うちその他の包括利益累計額合計	22,011	24,422	+2,410	446	2,161	+1,715	0	0	+0	△2,055	76	+2,131	△267	△452	△184	20,036	26,120	+6,084
うちその他有価証券評価差額金	22,111	24,337	+2,225	446	2,161	+1,715	0	0	+0	△1,565	801	+2,366	–	–	–	21,015	27,351	+6,335
うち土地再評価差額金	△134	△131	+3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	△134	△131	+3

第一生命グループ－連結ソルベンシー・マージン比率

Dai-ichi Life Holdings

（億円）

	19/3末	19/9末	増減
ソルベンシー・マージン総額（A）	73,344	82,781	+9,437
資本金等[1]	13,147	13,522	+374
価格変動準備金	2,182	2,295	+113
危険準備金	7,309	7,077	△231
一般貸倒引当金	1	1	+0
（その他有価証券評価差額金（税効果控除前）・繰延ヘッジ損益（税効果控除前））×90%（マイナスの場合100%）	26,393	34,061	+7,667
土地の含み損益×85%（マイナスの場合100%）	1,998	2,173	+174
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	△ 151	△ 154	△3
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	23,345	23,118	△227
負債性資本調達手段等	8,442	9,092	+650
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△ 7,287	△ 6,625	+661
控除項目	△ 2,650	△ 2,828	△177
その他	613	1,047	+434
リスクの合計額（B）$\sqrt{(\sqrt{R_1^2+R_5^2}+R_8+R_9)^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4+R_6$	16,864	17,678	+813
保険リスク相当額 R_1	1,232	1,261	+29
一般保険リスク相当額 R_5	59	49	△9
巨大災害リスク相当額 R_6	15	14	△1
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	1,944	1,928	△15
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R_9	-	-	-
予定利率リスク相当額 R_2	2,618	2,553	△65
最低保証リスク相当額 R_7 [2]	728	722	△5
資産運用リスク相当額 R_3	12,803	13,685	+881
経営管理リスク相当額 R_4	388	404	+16
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2)\times(B)}\times 100$	869.7%	936.5%	+66.8%

(1) 社外流出予定額及びその他の包括利益累計額等を除いています。
(2) 標準的方法を用いて算出しています。

本資料の問い合わせ先
第一生命ホールディングス株式会社
経営企画ユニット　IRグループ
電話：050－3780－6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。